



第9課 好きなこと

できることの具体例

- ㊦ 書店の売り場案内から、目的の売り場がわかる。
- ㊦ 本の表紙やポスター、ちらしなどから自分の知りたい情報がわかり、読むことができる。
- ㊦ ブログなどに自分の好きなことについて書くことができる。

とびら

◎とびらに出ている学習漢字

【提出漢字】好（タイトル）、音、楽、映、画、海、外、旅

◎教室でのやり取り例

①とびら全体について

T：ここにいろいろなポスターがあります。何のポスターですか。

L：音楽祭、映画、旅行……

T：それはどこを見てわかりましたか。

*イラスト中の漢字を指してもらってもいいかと思います。

②この課のテーマとの関連付け

T：みなさんは音楽や映画、旅行どれが好きですか。

L：りょこうが好きです。

T：そうですね。海外旅行ですか？

L：かいがい？

T：〈「海」「外」を指して〉これは海外です。「うみ」と「そと」です。日本の海の外です。意味は何ですか？

L：外国？

書きマス目ページ

◎覚え方のヒントと留意点

91「好」

学習者と一緒に覚え方を考えるといいでしょう。このテキストではストーリーから覚えるアイデアを紹介しています。p.82に自分で漢字のストーリーを考えて覚えるコーナーがあります。クラス全員で考えてみてほしいかと思います。

例) 女の方は子供が好き

92「歌」

学習者と一緒に覚え方を考えるといいでしょう。このテキストではイラストから覚えるアイデアを紹介しています。p.82にイラストがあります。パーツに「欠」があるのでこのパーツが「口を大きく開ける」の意味である

ことと、「飲」にも使われているということを紹介します。

例) 壇上でコーラス隊が歌い、右側に指揮者がいる。



94 「楽」

学習者と一緒に覚え方を考えるといいでしょう。このテキストではイラストから覚えるアイデアを紹介しています。

例 1) 木の上に鳥の巣箱があり、鳥が鳴いている。楽しそう！

例 2) 太鼓を叩く鼓笛隊。音楽は楽しい！

例 3) 木から人がジャンプして遊んでいる。楽しい！

* p.82 ページの解答 (別冊 p.16) に3のイラストを紹介しています。



95 「車」

学習者と一緒に覚え方を考えるといいでしょう。

イラストから覚えるアイデアもあります。

例) 車輪のイラストのイメージから



* 横にして……



99 「海」

学習者と一緒に覚え方を考えるといいでしょう。このテキストではストーリーから覚えるアイデアを紹介しています。p.82 に自分で漢字のストーリーを考えて覚えるコーナーがあります。「さんずい」=水ということをごここで初めて導入します。さんずいについては p.53 にイラストがあります。



例) 海は私たち「人」の「母」(母なる「海」)

ポイント

- ①③⑤⑦…字形の問題
- ②…送り仮名の問題
- ④⑥…読み方の問題
- ⑧…語彙の問題

練習 1 書いてみよう

II 同じパーツ (構成要素) を持つ漢字の整理です。これも漢字学習のストラテジーの1つです。

- ①旅 (旅行)、族 (家族 第8課)
- ②歌 (歌う)、飲 (飲む 第5課)
- ③書 (書く: 第6課)、音 (音楽)

III 「私の趣味は、音楽を聞くことです。日本のポップスが好きです。」など、ここまで習った漢字をできるだけ使うように促すといいでしょう。

練習2 やってみよう

I 何階にどんな本があるか学習者に質問してください。この課の学習漢字以外でも、学習者が知っているものがあれば意味や読み方を確認します。次に問題①、②、③の人がどの売り場に行けばいいか考えてもらってください。最後に答えを共有します。

II (聴解問題)

ここは、どんな本かがタイトルからわかるというタスクです。(タイトルが全て読めなくても構いません。) 何の漢字が聞こえ、イラストの中のどの漢字から答えを導いたかをクラスで共有します。

III (聴解問題)

ポスターなどに、「どんな情報が書いてあるか」を推測するタスクです。詳細がわからなくても構いません。

[教室でのやり取り例 (①、②)]

L: カラオケに行きたいです。どれを見たらいいですか。

T: C です。

L: Cは何のポスターですか。

T: うたくらぶです。カラオケボックス？

L: そうですね。①の答えはCですね。

T: では、Bは何のポスターですか。

L: コンサート。音楽。

IV 掲示板やブログに日本語で(漢字で)自分の好きなもの(趣味)を書く練習です。①は、内容を細かく読み取る必要はありません。趣味が「料理」だということがわかればいいです。次に①を例として自分のことを書いてみます。まずは、平仮名で書いてみて、漢字に変換しても構いません。もちろん、提出漢字を使わない場合もあると思いますので、その場合は学習者が自分で漢字を調べながら書いてもいいかと思います。用紙は別途用意してください。パソコンを使って実際に書いてもいいと思います。

最後の文の「でも、」ですが、「他の接続詞のほうがよいのでは？」と思うかもしれません。この文章は実際のブログを一部引用したもので、生の日本語をできるだけそのまま載せているため、このようになっています。ブログというものが、個人の日記を公開しているもの、または、友人同士でおしゃべりしている内容を文字化したものと考えるとこのような言語活動は決してないことではないという判断をしています。「でも」は、「メニューを考えるのが大変」を受けていますが、その間に「料理がとっても好きです！」が挟まっています(「日々のメニューを考えるのは面倒で好きではない」けど、「料理をすること自体は好き」という気持ちを表している)。学習者から質問が出た場合や、「正しい日本語」という観点で補足が必要そうな場合は、適宜、説明を加えてください。

コラム

漢字の熟語構成について知ります。熟語を単漢字にばらして、意味を推測することが可能だということを紹介합니다。